

令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和元年 3 月 25 日

認定こども園曙幼稚園 園長 草分 由子  
学校関係者評価委員会 勝亦 誠司

1 保育方針

たくましく生きる子どもを育てよう（眼を放すな、手を離せ）

2 本年度の重点目標

- (1) 心身の健康を培うため積極的に活動する
- (2) 集団生活のルールを知り思いやりの心を育てる
- (3) 自分で考え行動し豊かな創造性を養う
- (4) 意欲的に遊び人と関わる楽しさを育てる

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価点 4（あてはまる）、3（大体あてはまる）、2（あまりあてはまらない）、1（あてはまらない）、※（その他）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員	
	評価点	園としての反省と改善策	評価点	意見
一日の生活のリズムや在園時間が異なる園児が共に過ごすことを踏まえ、活動と休息、緊張感と解放感等の調和を図るとともに、園児に不安や動揺を与えないようにする等の配慮を行っている。	3	各ご家庭の就労状況などにより日頃のお迎え時間、長期休日期間の預かり保育利用の有無や土曜保育の利用の有無などが異なることを考慮して、個に配慮した保育を行った。	4	母親が就業されているご家庭やひとり親家庭、祖父母などの周囲から支援を受けにくい核家族が増加している中で社会的インフラの機能をしっかりと果して行ってもらいたい。
幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、園児が自ら意欲を持って環境とかかわることによりつくり出される具体的な活動を通して、その目標の達成を図っている。	3	子ども達が自らの考えを表出できる環境を意識的に多く設定した。遊びの中や日常の生活からたくさん興味・関心が生まれ、それらを自由に探究し学ぶ力ややりぬく力を育む環境を構成していく。	4	幼保連携型認定こども園教育保育要領、小学校額数指導要領の改訂を踏まえて、子ども達が大人になったときに必要な力を付ける基礎を育てていってもらいたい。
園児の疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な環境の維持及び向上に努めている。	4	新型コロナウイルス感染症の流行により毎日の体調の確認や手洗い、手指消毒などを行い感染症予防に対して意識が高まり保健的な環境を作ることができた。	5	新型コロナウイルスへの対応は、誰しも経験した事がなく予想ができない事が多いため大変だと思うが子ども達や職員の安全のために精一杯努めてもらいたい。